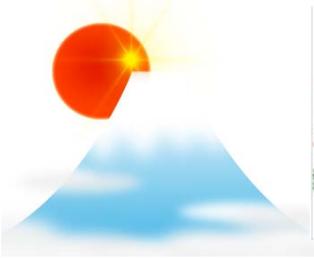


ひまわり



医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会
会長 草野 潤

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、すばらしい1年になります様お祈り申し上げます。

当医師会の事業運営に関しましては、日頃より皆様方のご支援を頂き、誠に有難うございます。

平成27年度は、在宅医療資源マップを作成し町民の皆様へ全戸配布致しました。また、在宅医療を受けておられる方の緊急時の情報提供書として、在宅医療連携シートを作成し4月1日から運用開始致しました。情報交換のお役に立てれば幸いです。10月31日には「住み慣れたわが家で生きること 大切な人を看ること」をテーマに在宅医療推進フォーラムを開催し、多くの方にご参加頂きました。また、「大切な人を看ること 看取ること」をテーマに行ったシンポジウムでは、在宅で看取りをされたご家族を初め多職種の方にご協力を頂き、参加された皆様から「よかった」というご感想を頂きました。これもひとえに、皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

鹿児島県医師会から受託した在宅医療提供体制推進支援事業は残すところ3ヶ月となりました。

平成28年度からの在宅医療推進地域支援事業につきましては、行政からの委託を受け継続することとなりました。

今後は、さつま町、薩摩川内市両行政と協力し取り組んで参る所存です。本年もご支援ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



薩摩郡医師会在宅医療推進
事業運営委員長
松下 兼一



本年もどうぞよろしくお願ひ致します。在宅医療推進支援室へもお気軽にお立ち寄りください。



在宅医療における人材育成(多職種研修会)(11/21)



薩摩郡歯科医師会、薩摩郡医師会の共催で高齢者の口腔ケアに関する研修会を開催致しました。国立病院機構都城医療センター歯科口腔外科新屋俊明先生に「超高齢社会に必要な口腔ケア」についてご講演頂きました。口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防や嚥下機能や発語の改善につながる等解りやすくお話し頂きました。46名の方が参加されました。

在宅医療における人材育成(多職種研修会)(12/1)



薩摩郡栄養士会、薩摩郡医師会の共催で介護職の方を対象に「身近な材料で治療食を実際に作る」の研修会を開催しました。まず、初めに(公社)鹿児島県栄養士会理事 病院協議会会長の油田幸子先生による講話「誰にでもできる食事療法～糖尿病食と減塩のワンポイントアドバイス～」では、先生の笑顔とパワーと豊富な知識をたくさん頂きました。講話の後は、4つのグループに分かれて調理実習を行いました。管理栄養士の方々のご指導の下右の写真の料理があっという間にできました。糖尿病食1200kcalの3食分です。42名の方が講演を聞かれ、28名の方が調理実習に参加されました。



地域住民への普及啓発



12月5日入来町清色地区コミュニティセンターで在宅医療についての説明をさせて頂きました。29名の方が参加されました。



12月18日山崎地区サロン山崎ころばん会において在宅医療について説明をさせて頂きました。さつま町介護保険課の方に同行させて頂きました。14名の方が参加されました。

「オレンジカフェ ほうかつ」に取材に行きました(12/7)



ロバ隊長



さつま町地域包括支援センターで、毎月2回月曜日に開催されるオレンジカフェに取材に伺いました。介護している人、もの忘れが心配な人、認知症サポーター、認知症に興味のある方どなたでも参加できるそうです。左の写真は、オレンジのフェルト生地でロバ隊長(認知症のトレードマーク)を縫っておられる皆さんです。とてもかわいいです。お茶を飲んだり、折り紙、歌、紙芝居など色々な催しがあり、とても和やかな雰囲気です。1月は18日と25日にオープンします。お気軽にいらしてください。

お知らせ:1月～3月の行事予定

- 1月18日 武なかよし会(サロン)への出前講座
- 1月26日 在宅医療推進チーム会議
- 2月9日 在宅医療推進連絡協議会
- 2月11日 市民講座(薩摩農村環境改善センター)
- 3月2日 在宅医療推進事業運営委員会